

**第3回 生物・化学汚染による健康障害の建築的対応 特別研究委員会
(変更前名称)低用量曝露による過敏性症候群の予防と対策特別研究委員会
議事録**

記録：長谷川

- A. 日 時：2006年10月17日 16:00～18:00
- B. 場 所：日本建築学会会議室
- C. 出席者：＜委員長＞吉野 博 ＜幹 事＞加藤信介，田辺新一
＜委 員＞村上周三，赤林伸一(代理 坂口 淳)，石川 哲，大澤元毅，
篠原直秀，長谷川兼一，坊垣和明，森 千里，森川康成，柳沢幸雄
＜オブザーバー＞弘瀬 将光，渡辺利沙 (順不同，敬称略)
- D. 資 料：No.3-0 議事次第
No.3-1 委員会名簿
No.3-2 2006年度開始特別研究委員会設置提案書
No.3-3 第2回 議事録
No.3-4 研究テーマと委員会の名称改定について
No.3-5 検討課題のキーワード
No.3-6 委員会の活動計画
No.3-7 なし
No.3-8 住宅の Dampness に起因する健康影響に関する調査研究
- E. 議 事
1. 委員構成の確認が行われた。(資料 No.3-1)
 2. 前回議事録の確認が行われ，了承された。(資料 No.3-3)
 3. 資料 No.3-4 に基づき研究テーマと委員会の名称改定について確認され，資料の申請内容が学術推進委員会にて了承されたことが報告された。
 4. 加藤 WG の進捗状況について報告された。本 WG では，生物(ミジンコ，メダカ等)を用いて空気汚染の度合いを評価するバイオセンサーの開発を行っている。来年度の末頃に研究成果の報告が可能である。
 5. 本委員会ホームページ(HP)の作成の進捗状況が報告された。デモの内容で了承され，今後，学会 HP サーバーに掲載するよう手続きを進め，随時情報の更新を行う。
 6. 資料 No.3-6 に基づき，本委員会の今後の活動計画について検討された。
(ア) 話題提供の候補(順不同)
 - ① 森委員：ケミレスタウン
 - ② 加藤委員：汚染質拡散の応答係数
 - ③ 臨床環境医学会総会のパネリスト(秋山先生，柳先生，高鳥先生，阿部先生)
 - ④ 村上・加藤委員：紫外線による殺菌
 - ⑤ 田辺委員：SVOC に関するテーマ
 - ⑥ 柳沢委員：ガイドライン 13 物質以外の VOC，TVOC による健康影響
カビの測定法の開発
 - ⑦ 大澤・坊垣委員：居住環境内のカビの全国調査(イ) シンポジウム等の計画案
2007年10月に仙台で開催予定の国際会議 IAQVEC にて，カビ・MVOC に関連するシンポジウムの企画を行う。シックハウス問題と関連付けて内容を検討する。
 - (ウ) 研究費の申請
積極的に申請を行うことが確認された。
 - (エ) 関連研究の文献調査
7. 住宅の Dampness と健康影響に関する調査研究についての話題提供(資料 No.3-8)が，長谷川委員により行われた。
 8. 次回：12月19日(火) 17:00～19:00 於：建築会館会議室
話題提供は森委員が担当することとなった。
次々回：3月9日(金) 17:00～19:00 於：建築会館会議室